

様式3 【物・文化財・風景など実体のあるもの】

ふくしまの森林文化調査カード

県 HP公開 (  可・  否 )

区分	1. 森づくり 4. 森と暮らし		2. 森の恵み 5. 森の文化財	3. 森と技 6. 森の風景
分野 (ふりがな)	(分野) 板倉	(ふりがな) いたくら		
地域独特の呼び方	—		—	
タイトル	板倉			
伝承地域	檜枝岐村			
由来 (年代)	(いつ、どこで、誰によって起こり、どのようにして現在まで (いつまで) 伝えられてきたか) 不明			
内容	(内容と共に、行事・祭りの場合は実施の時期、郷土料理の場合レシピなども) 板倉とは木造の倉庫のことで、檜枝岐村には壁土がないことから住家も倉も木造であった。 板倉の構造には三つの様式の変遷がある。 もっとも古いのは蒸籠づくりで、柱を使わず釘など金具の使用もなく、厚板を蒸籠式に組み合わせて作る。この形状から板倉をセイロと呼ぶ地域もある。 次に、落とし板倉と呼ぶ様式で、四隅に柱を立て横に厚板を張り重ねる。 打付け板倉は貫を用いて縦方向に板を打ち付ける。他の様式に比べ材料の節約ができ耐久性も良い。			
大きさ・材質	(大きさ：緑の文化財、巨木、建造物などスケールが情報として有用なもの。) —	(材質) —		
見頃	(緑の文化財、巨木など特定の時期に見頃が訪れるもの。) —			
交通アクセス	—			
文化財等の指定状況	井籠造り板倉 檜枝岐村重要文化財			
問い合わせ先	檜枝岐村教育委員会		電話 0241-54-5333	

【フリーフォーマット】※表面に記載した内容に関連したことを自由に記入してください。

キーワード

<板倉集落>

板倉は、穀類、衣類等の保管倉として用い、火災の心配から住家と離れた村はずれにまとまって建てられている。

<井籠造り板倉>

もっとも古い様式の板倉で、柱はなく厚板を井籠せいろうのように組み合わせ、釘などの金具を一切使用していない。

屋根には下葺板をのせ、その上に樺の皮を敷き、さらにその上に割板を葺く。



(桧枝岐村教育委員会)